

隠岐病院CT調達業務事業者選定公募型プロポーザルの選定結果について

隠岐病院におけるCTの導入に関し、機器の調達等について自由提案により隠岐病院に適正なコストで最適な診断・治療環境を提案する事業者を選定するため次のとおり公募型プロポーザルを実施した。

1. 募集及び選定の経過

- | | |
|-----------------|--|
| (1) 募集公告 | 令和4年3月7日(月) |
| (2) 参加申請書提出期限 | 令和4年3月31日(木) |
| (3) 参加資格審査結果の通知 | 令和4年4月6日(水) |
| (4) プロポーザルの実施 | 令和4年4月13日(水) |
| (5) 選定委員会の開催 | 第1回 令和4年2月17日(木)
第2回 令和4年3月3日(木)
第3回 令和4年4月7日(木)
第4回 令和4年4月13日(水) |

2. 参加申請団体

- (1) ティーエスアルフレッサ株式会社
(広島市西区商工センター1丁目2番19号)
- (2) 小西医療器松江営業所
(島根県松江市平成町182番地32)

3. 選定の方法

(1) 選定委員会委員の構成

役職	氏名	備考
院長	長谷川 明広	委員長
統括副院長	松尾 進	副委員長
副院長	加藤 一朗	
副院長	齋藤 英典	欠席
医療技術部長	増谷 秀樹	
看護部長	福本 直美	
事務部長	野津 信吾	

(2) 提出書類の確認

申請団体からの提出書類については、公告に定める応募の資格等を満たし、適正に記載されていることを確認した。

(3) プレゼンテーション及びヒアリング

申請団体に対し、提案内容等について30分間の説明を求め、その後、各委員との間で15分間の質疑応答を行った。

4. 審査結果

最優秀提案者 ティーエスアルフレッサ株式会社

5. 審査の総評

本プロポーザルへの参加者は、医療機器・医薬品・診療材料・検査試薬等幅広く当院に協力していただいている2社からの提案であり、当院CT機器の重要性、位置づけを十分理解され、最適な診断・治療環境に向けた「本体及び附属機器の性能」「整備体制及びサポート・保守体制」「導入実績」「画像評価（頭部・腹部・胸部・金属）」など、また調達に関して適正なコストの提示があり、各評価項目に対して、当院が求める仕様基準を上回る提案が随所に見られ、2社ともに高いレベルの提案となった。

ティエスアルフレッサ株式会社は、CT本体性能において、ガントリにスキャンボタンがついていることで患者様に付き添ったまま検査が実行できることやコンソール内からCT本体を操作できる等操作時間の短縮等の優位性があり、また、当院及び院外関係機関の医師による画像評価結果においても画像の鮮鋭度等優位性があり、加えて、本体価格や機器保守管理料についても適正なコストの提示があった。

自由提案では現MRI機器とワークステーションの連携提案及び追加ソフトウェアの提供による「Whole Body Diffusion像」の提案があり、将来的に社会的ニーズの高まりが予想される予防医療等に対応可能な提案となっていた。

小西医療器株式会社松江営業所は、CT本体性能において、特にスキャン機能においては、チルトヘリカルスキャンが可能であり、検査部位によって被ばく低減や体内金属からのアーチファクト低減が可能となり優位性があった。心臓機能においては、体幹部の臓器ごとに撮影条件を変えながら一連で検査が可能のため検査効率が高るといったところが優れており、また、寝台の最低高さも419mmと車椅子患者や高齢者に配慮された仕様となっており優位性があった。加えて同等機器の導入においても県内外で第1位の実績があり機器の信頼性・不具合への対応力の信頼度が高いと評価した。

2社それぞれに優位な点が見られ審査は拮抗したが、総得点でティエスアルフレッサ株式会社が最優秀提案者と決定した。

プロポーザルでは、ティエスアルフレッサ株式会社は富士フィルムヘルスケア製のCT機器「シナリアビュー」を、小西医療器株式会社松江営業所については、キヤノンメディカル製のCT機器「アクイリオン」の提案となった。

別紙

隠岐病院 CT 調達業務事業者選定公募型プロポーザル選定評価表

評価項目		配点	ティーエスアルフ レッサ株式会社	小西医療器 株式会社	
1. CT本体関連 (性能評価)	1. 走査ガントリについて	1 撮影方法はコンベンショナルスキャン及びらせん状スキャンが可能であること。	50	43.7	36.5
		2 最短ローテーションタイムは360度フルスキャンにおいて0.35秒以下であること。			
		3 ガントリの開口径は750mm以上であること。			
		4 ガントリの傾斜角度は±30度程度が可能であること。			
		5 ガントリにスキャン開始ボタンを有すること。			
		6 撮影中の患者が息止め指示の確認可能なモニタを有すること。			
		7 ガントリに息止め時間カウント・心電波形などを表示する液晶モニタが内蔵されていること。			
	2. X線検出器について	1 X線検出器の体軸方向(Z方向)の測定列数は実装で64列以上であり、検出器幅が40mm以上であること。	50	43.2	44.2
		2 X線検出器の回転方向(XY方向)の測定チャンネル数は実装で888ch以上であること。			
		3 最小撮影スライス厚は0.625mm以下であること。			
4 空間分解能は17.18lp/cm (MTF0%) 以上であること。					
3. X線管球、X線発生装置について	1 X線管球の陽極熱容量はIEC規格で7.5MHU以上であること。	30	29.3	24.4	
	2 X線管球の最大陽極冷却率は1,386kHU/分以上であること。				
	3 X線管電圧は最高135kV以上の出力が可能であること。				
	4 X線管電流は、最大出力が600mA以上の出力が可能であること。				
4. 寝台について	1 寝台の最低高さは床から450mm以下であること。	50	38.5	43.7	
	2 寝台の天板幅は470mm以上であること。				
	3 寝台の許容最大荷重は200kg以上であること。				
	4 寝台は横スライド機構を有し、左右への稼働が可能であること。				
5. 操作コンソールについて	1 ガントリの傾斜操作をコンソールから遠隔操作が可能であること。もしくはスキャン後の再構成で対応可能であること。	30	27.8	22.1	
	2 コンソールからボタン操作により寝台をホームポジションに戻す機能を有すること。				
	3 画像再構成マトリクスは最大1,024×1,024以上であること。				
	4 造影剤の関心領域内濃度を確認し、最適なタイミングでの撮影を支援する機能を有し、モニタリングが可能であること。				
	5 造影剤自動注入器とスキャンスタート&停止時のタイミングを同期がとれる機能を有すること。				
	6 画像ネットワークの対応はDICOM3.0規格に準じていること。				
6. コンピュータ・性能について	1 操作コンソールのメインメモリ容量は合計で64GB以上であり、快適な操作環境であること。	40	36.7	35.7	
	2 画像保存枚数は500,000枚以上が可能であること。				
	3 画像再構成時間はコンビーム補正を含めた計算方法で、512×512マトリクスにて最大60画像/秒以上の生成が可能であること。				
	4 被検者の被ばくを考慮し、管電流を自動可変する機能 (AEC) を有すること。				
	5 搭載する逐次近似応用画像再構成技術の強度と連動して管電流制御を行うことの出来る自動管電流制御機能 (AEC) を有すること。				
	6 Deep Learning技術を用いた画像再構成技術を有すること。				
7. スキャン機能	1 ヘリカルスキャンの撮影範囲は1,950mm以上であること。	40	29.6	37.8	
	2 らせん状スキャンは最大連続50秒以上できること。				
	3 ガントリをチルトさせた状態でらせん状スキャンが可能であること。				
	4 単純撮影と造影撮影を軌道同期させて撮影する機能を有すること。				
8. 心臓撮影機能について	1 心臓検査は、ガントリモニタでの息止め練習の結果をコンソールに転送し、自動的に撮影条件を決定する機能を有すること。	30	21.7	27.2	
	2 撮影結果から自動的に最適心位相を検索する機能を有すること。				
	3 撮影中にピッチを可変させ、異なるピッチで連続撮影が行えること。				
9. アプリケーション (心臓撮影以外) について	1 搭載可能な最上位の逐次近似応用画像再構成機能を有すること。	30	23.8	26.3	
	2 逐次近似を応用した金属アーチファクト補正技術を有すること。強度が選択可能な場合は付加すること。				
	3 Deep Learning技術 (AI技術) を活用した被ばく低減技術を搭載していること。				
1. CT本体関連 (性能評価) 評価点小計		350	294.3	297.9	
2. 周辺機器・付属品について	1 当院が要望する3D画像解析ワークステーションを一式有すること。	30	27.2	26.3	
	2 ワークステーションについては、当院が要望する構成・設定等が可能なこと。				
	3 造影剤自動注入装置 (2筒式で造影剤と生理食塩水を連続して注入できる仕様) を1式有すること。				
	4 被ばく線量管理のための機能を有すること。				
	5 当院が要望する周辺機器・物品等が準備できること。				
3. 付帯提案について	1 3D画像解析ワークステーションは当院が要望するネットワークが構築できること。	30	25.5	27.3	
	2 CT装置・周辺機器等は当院のHIS等とのDICOM MWM機能を有すること。また接続が可能なこと。				
	3 CT装置の稼働に必要な改修工事 (内装工事、レベリング工事等を含む) を実施できること。				
	4 機器および周辺装置の配線等は、当院の関係者と十分協議したうえで施工すること。また配線等は極力隠れる仕様に努めること。				
4. サービス体制・保守体制について	1 年間を通じて24時間体制の連絡体制が整備されていること。	100	77.5	75.8	
	2 障害時は、早急な復旧を可能にするサービス体制を有すること。				
	3 定期保守点検は日中業務以外の時間帯で実施すること。(追加費用は発生しないこと)				
	4 保守に係る契約を締結する場合、適正な内容・価格での締結が可能であること (提案様式第5号) (提案様式第5号の2)。				
5. 機器の導入について	1 今回の仕様項目書と同等の機能を有する機器の中国地方におけるメーカー納入実績 (過去3か年分) を提出すること (提案書様式第3号の1)	100	65.0	95.0	
6. 整備スケジュールについて	1 早期の設置・本格稼働が可能なこと。	20	16.7	17.7	
	2 CT据付期間中の検査対応の為、CT車レンタル等の対応が可能であること。				
	3 搬入・排出・設置に関して、関係法令等が遵守されていること。				
7. サポート体制について	1 導入後、教育訓練・操作方法・アプリケーション使用方法を継続してサポートできる体制が可能なこと。	20	16.7	17.8	
	2 機器の設置及び更新にあたり、必要な申請や届出を実施できること。				
8. 画像評価	1 院内・院外の関係者による画像評価結果による	100	78.5	65.5	
9. 自由提案	1 上記以外で、当院経営改善、患者サービス向上、検査運用等に対する提案 (提案様式第2号) 及び資料・説明の分かりやすさ等	50	38.3	33.3	
技術評価点		800	639.7	656.6	
CT本体価格評価点		200	166.2	144.4	
総合評価点		1,000	805.9	801.0	

※選定委員6名の評価点 (平均値) を記載しています。

選定結果 (順位)

最優秀提案者

次点